

土木学会－日本非破壊検査協会 合同シンポジウム  
「非破壊試験が拓くインフラメンテナンスの未来」

開催日：2019年2月28日（木） 13:30-16:50（13:00 受付開始）

参加費：無料

社会インフラの維持管理・更新は喫緊に解決すべき社会問題です。そのためには、社会インフラの現状を詳細に把握しておく必要があります。これまでは、構造物外観の目視調査によって健全度を把握することが一般的でしたが、必ずしも正確で客観的な評価がされているとは言い難い状況です。また、従来から非破壊試験の活用が試みられてきたものの、試験技術自体が未成熟であったこと、ユーザ側に先入観や過度の期待感があったことから、これまで必ずしも非破壊試験の威力を発揮できずにいたのが実状です。しかし、昨今、SIP等の取組みにより非破壊試験技術の高度化が図られ、インフラメンテナンスの未来が大きく変わろうとしています。そこで、非破壊試験技術の開発側とインフラ管理者などのユーザ側が一堂に会し、非破壊試験について共通認識を持って、今後のインフラメンテナンスのあり方について議論するべく、土木学会と日本非破壊検査協会の合同シンポジウムを開催することにいたしました。本シンポジウムでは、SIP「インフラ維持管理・更新・マネジメント」で得られた成果について紹介するとともに、最近の非破壊試験技術に関する研究開発成果を紹介します。あわせて、紹介した非破壊試験技術の装置や機器の展示も行いますので、皆様、奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

本行事は、土木学会認定 CPD プログラムです。（認定番号 JSCE19-0061 3.3 単位）

・主催

土木学会（インフラメンテナンス委員会、SIP インフラ連携委員会）  
日本非破壊検査協会（学術委員会）

・日時

2019年2月28日（木） 13:30-16:50（13:00 受付開始）

・場所

日本非破壊検査協会 6階 B&C 会議室  
〒136-0071 東京都江東区亀戸 2丁目25-14 立花アネックスビル  
<http://www.jsndi.jp/aboutus/access.html>

・定員： 100名（先着申込み順。定員に達した場合には申込みを締め切ります。）

・参加費： 無料

・**申込み方法**： 所定の参加申込み書（MS・WORD）に必要事項を記入の上、日本非破壊検査協会学術部（acd@jsndi.or.jp）宛てでメール添付にて送付してください。  
メール件名『JSCE,JSNDI 合同シンポジウム参加申込み』にてお願い致します。

・**申込み締切**： 2019年2月22日（金）

・**問い合わせ先**： 一般社団法人日本非破壊検査協会  
学術部 小林  
〒136-0071 東京都江東区亀戸 2丁目25-14 立花アネックスビル 10階  
Tel：03-5609-4015 Fax：03-5609-4061  
E-mail：koba@jsndi.or.jp

----- プログラム(予定) -----

13:00-13:30	受付	司会：岩波光保（東京工業大学）
13:30-13:40	開会挨拶	廣瀬壮一（日本非破壊検査協会）
13:40-14:20	SIP「インフラ維持管理・更新・マネジメント」の成果	宮武 晃司（内閣府）
14:20-14:40	超音波ガイド波を用いた配管検査技術（仮）	西野秀郎（徳島大学）
14:40-15:00	鉄鋼構造物の磁気検査法の開発	塚田啓二（岡山大学）

— 休憩（技術展示） —

15:30-16:00	長大鋼橋梁の維持管理のための赤外線計測技術の開発	阪上隆英（神戸大学）
16:00-16:20	ポータブル型 X 線残留応力測定装置のインフラ構造物への適用	野末秀和（パルステック工業）
16:20-16:40	NDI-RC 部門が検討している最新試験方法	湯浅 昇（日本大学）
16:40-16:50	閉会挨拶	岩波 光保（土木学会）